

浦和区自治会連合会

平成30年度研究発表会 報告書

- 1 日時 平成31年2月19日（火） 午前10時から12時まで
- 2 場所 市民会館うらわ 7階 集会室
- 3 出席者
 - ・藤枝会長・高橋副会長・石井副会長 他会長46名で計49名の出席であった。
- 4 開会
 - ・司会は事業委員会の秦野委員長が進行した。
 - (1) 高橋副会長より開会の挨拶があった。
 - (2) 藤枝会長より多数の会長さんの出席に対する御礼と本日の議題である避難場所運営訓練の取り組みと課題等について各地区で研究した成果を発表していただきたい旨の挨拶があった。
 - (3) 石井副会長より発表の順番及び各地区の発表時間は10分で、全地区の発表が終了したら時点で、質疑応答を行う旨のオリエンテーションを行った。
- 5 発表資料 発表内容の詳細は「浦和区自治会研究発表会」の開催要領を参照のこと。
- 6 発表概要
 - (1) 中央地区（東仲町自治会 三上会長）
 - ・中央地区の自治会は16自治会の参加で研修会を行ったが、今回の発表は東仲町自治会の避難場所運営訓練の取り組みについて発表した。
 - ・仲本小が避難場所になっていて、各自治会が6班に分かれて運営訓練した。昨年は各地区5名、計30名の参加でハグゲームを、今年はクロスロードゲームを実施し、非常に参考になった。ただ、食料配布の時期やペットの受け入れの問題で意見が分かれた。
 - また、AED8基、消火器20基を設置し、タウンマップに記載しているとのことであった。
 - (2) 常盤地区（常盤6丁目自治会 林会長）
 - ・常盤地区は常盤小学校、仲町小学校、埼玉大学付属小学校の避難場所があり、各避難場所で年1、2回の運営訓練、防災訓練を実施している。また、高層マンションが相当あり、独自に訓練を実施している。
 - ・各避難場所の課題については、多くの方々に経験してもらい、避難場所のキャパが狭いため第2避難場所を確保する、避難場所の鍵の保管の問題、支援が必要とする人の体制づくり、災害準備の広報、ペットの受け入れ等多くの課題が提起された。

(3) 元府趾地区（前地3丁目自治会 増戸会長）

- ・仲本小、本太小、市立高校、北浦和小の4避難場所についての訓練内容について発表した。
- ・問題点等については、避難者台帳作成時の問題、避難所の鍵取扱い統一の問題、避難所の収容人数の問題等が挙げられた。また提案として、避難場所によっては収容に余力がある場合、避難場所同士の横のつながりで情報管理が必要ではないかとの意見があった。

(4) 北浦和・針ヶ谷地区（北浦和5丁目自治会 志水会長）

- ・北浦和小、常盤小、常盤北小、常盤中、針ヶ谷小の5避難場所があり、全体的に訓練はマニュアルとおりに実施している。
- ・ただ、針ヶ谷小の30年度の訓練は、例年と違い、防災アドバイザーの佐々木氏を講師として講演をしてもらった。
- ・避難場所まで避難できない人もいるので、自治会長が提案した場所を避難場所に指定してもらいたい旨の提案、鍵の問題、また、浦和区は山河がないので防災意識が低く通り一遍の訓練になるのではとの意見があった。

(5) 木崎第一地区（領家七丁目自治会 原口会長）

- ・避難場所運営の問題について次の項目にしぼって意見を集約した。
- ・避難場所の開設と鍵の管理について、被災者のトリアージについて、防火対策と減災について、体育館の環境について発表した。
- ・また、要望として、鍵の取扱いや体育会のバリアフリー化、段ボールベッドの常備化等の貴重な意見が出ていて、自治連として市に要望してもらいたいとの意見があった。

(6) 木崎第二地区（上木崎8丁目自治協力会 加藤会長）

- ・上木崎8丁目では、自主防災部が独自の避難防災訓練実施要領を作成し、訓練を実施した。

質疑応答

- ・災害はいつ来るかわからない。もし昼間であったら勤務で人が集まらないので、女性、高齢者の訓練が必要ではないか。
- ・避難場所が2分割される問題、区境で他者が入ってくる問題がある。
- ・情報網の確保が課題である。また、風評被害の問題もある。

7 まとめ

- ・今日の発表会のまともとして、藤枝会長より本日の発表会の総括があった。最後に、いざという時、自治会だけでは対応ができないので、住民一人ひとりの意識改革が重要である。

8 石井副会長が閉会の宣言をした。